

浜名湖弁天島エリアにおける観光防災 WebGIS の開発と 地域・環境学習の支援

秋元菜摘*・小佐野淳平**

*静岡大学, **元静岡大学・学

静岡県西部に位置する浜名湖では、自然を活かした観光振興やアプリケーションなどの利活用が目指されている。本研究では浜名湖弁天島エリアで、観光 Web サイトやパンフレットに掲載されていない潜在的観光資源を再発見し、信頼できる背景地図上に提示することで、地域・環境学習に資する観光防災 WebGIS を開発した。WebGIS の開発においては、資料調査と現地調査から得られた自然や文化に関わる潜在的観光資源（例えば、歴史的な句碑や地域の水産資源の養殖風景など）を含めるとともに、観光防災に対応するためにハザードマップや避難施設などを一括表示する機能も搭載した。現地でヒアリング調査を含む評価実験を行った結果、観光防災 WebGIS を用いることで、利用者が地域や環境について理解を深めると共に、防災情報についても関心を高めることができることが示された。今後は地域の関係者と共に内容を改善することで、地域・環境学習により資することができると考えられる。

キーワード：WebGIS, 潜在的観光資源, 観光防災, 地域・環境学習, 浜名湖

I 研究の背景

観光立国推進基本計画（国土交通省観光庁、2017）では、文化財や自然、景観など地域特性を活かした観光地域の形成が推進されている。自治体や観光協会も地域振興に取り組んでおり、認知度の低い資源の利用も検討されている。内閣府（2004）では、従来は観光資源とは考えられていなかったが、新たに活用できる可能性があるものを潜在的観光資源と定義している。これまで広く認知されてきた顕在的観光資源と異なり、潜在的観光資源にはその地域・環境に根差した目立たないものも多く、それらを学習することは地域の魅力の再発見につながる。

観光者は、対象地域への訪問経験が増えるほど潜在的観光資源へ引き付けられる傾向がある。才原（2015）によれば、過去に着地型観光を経験したことがある場合、アンケート調査回答者の約 3 分の 1 が地域固有の体験をしたり一般的に有名ではない観光資源を訪れたりすることを明らかにし

ている。一般的に知られていない観光資源としての穴場スポットを抽出する手法も研究されており、写真共有サイト Flickr に投稿された画像と訪問数、ユーザ評価を用いたアプリを作成した北山（2016）や、Flickr とじゃらん net の投稿情報を利用した穴場スポットの発見手法を提案した野元ほか（2021）が挙げられる。他にもインターネット上で提供される観光サービスは多様化しており、利用者の嗜好に応じた観光プランを提案する CT-Planner などがある（倉田、2012）。これらは人気度や行楽を重視した観光では効果的であろう。

観光情報の発信についてもインターネット利用が普及し、近年では Web ブラウザで動作する地理情報システム（以降、WebGIS と呼ぶ）も普及しつつある。WebGIS は OS や端末が限定されず、アプリケーションのインストールも不要であり、紙媒体より多様な情報提供や操作を行える利点がある（掲載する情報量やハイパーリンク等を通した参考 URL への移動など）。紙媒体のパンフレットなども依然として有用ではあるが、インターネット